



# ENEOS Xplora

C o r p o r a t e   P r o f i l e



ENEOS Xploraは、エネルギー・資源・素材分野において日本を代表するENEOSグループの主要事業会社として、国内外で石油および天然ガスの開発・生産事業を行うことに加え、米国ではCCUS事業を推進しております。

カーボンニュートラルの実現を目指し社会が重要な転換期を迎える中、当社は二つの主要事業を基軸としております。第一の軸である「基盤事業」では、移行期におけるエネルギーの安定供給を確保することに注力しております。同時に、基盤事業の強みを最大限に活かし、将来の成長を支える第二の軸として、CCS/CCUS技術を活用した「環境対応型事業」を展開しております。これら二つの軸に基づき、持続可能な未来の実現に向けた取り組みを着実に進めております。

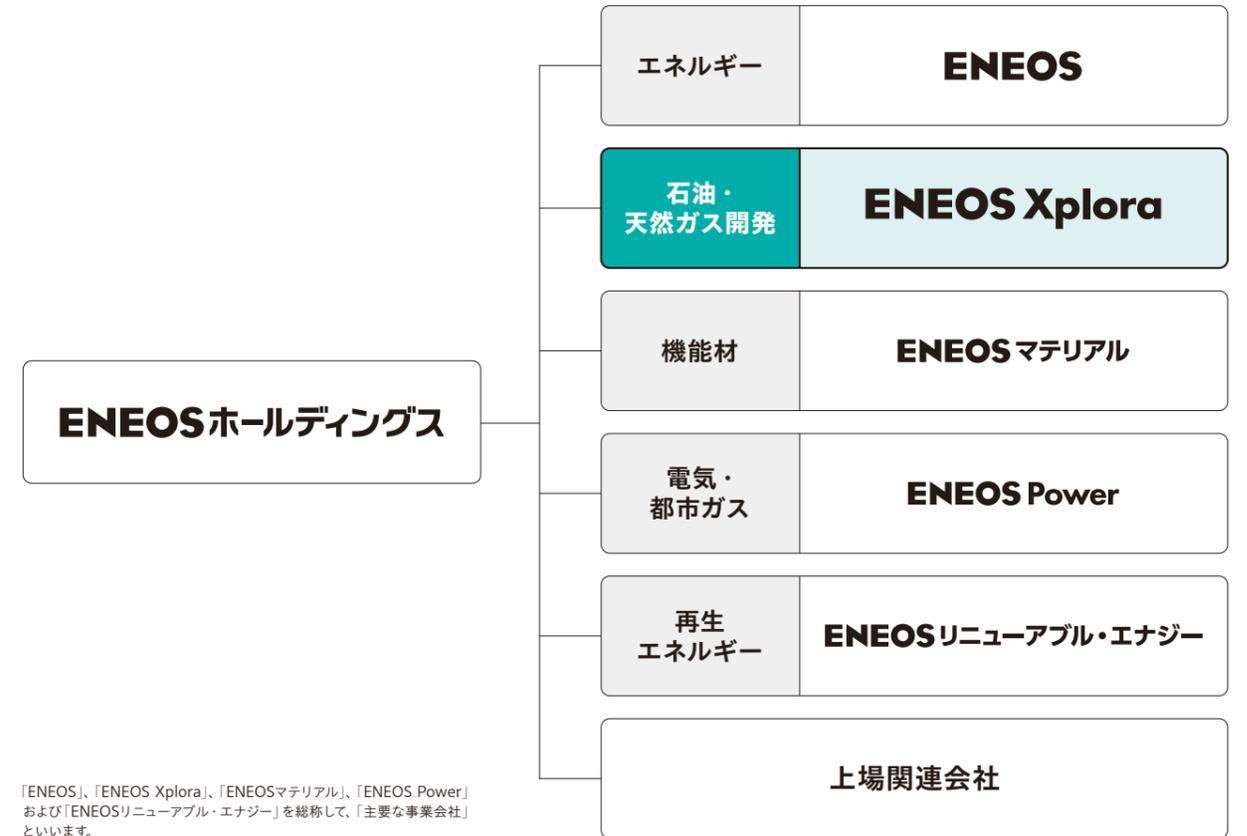
この「二軸経営」方針を一層明確に示すため、当社は2025年1月1日付で社名を「JX石油開発」から「ENEOS Xplora」へ改称いたしました。新社名に込めた「X」には、「Exploration（資源の探求）」に加え、「無限」、「未来」、「革新」、「未知なるものへの挑戦」という思いが込められております。

今後とも、当社は企業理念“Explore the EARTH and Create Value”のもと、地下技術と革新の力を駆使し、エネルギーの安全かつ安定的な供給を実現するとともに、新たな価値の創造に取り組む続けてまいります。

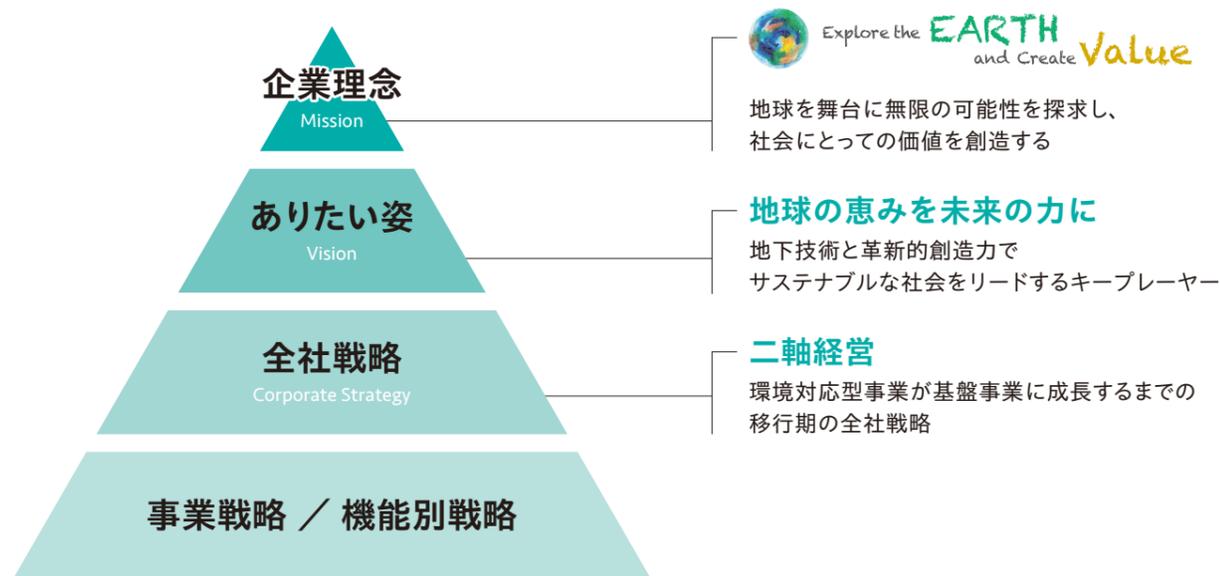
代表取締役社長 忍田 泰彦



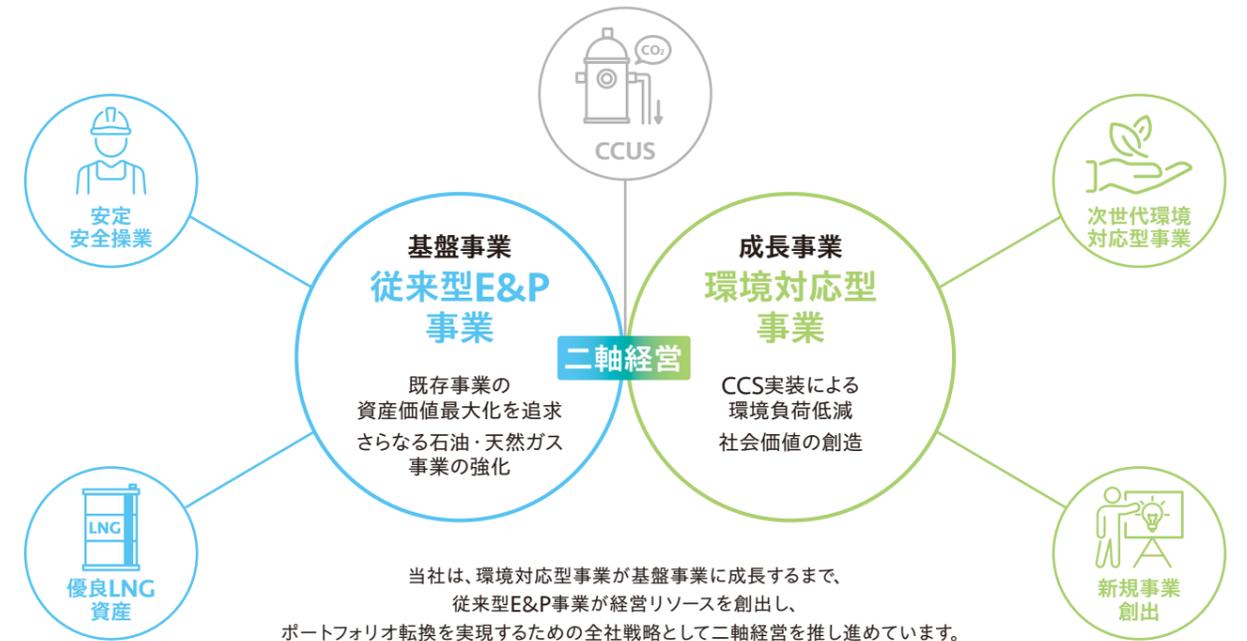
## ENEOSグループ運営体制



## ENEOS Xploraの理念体系

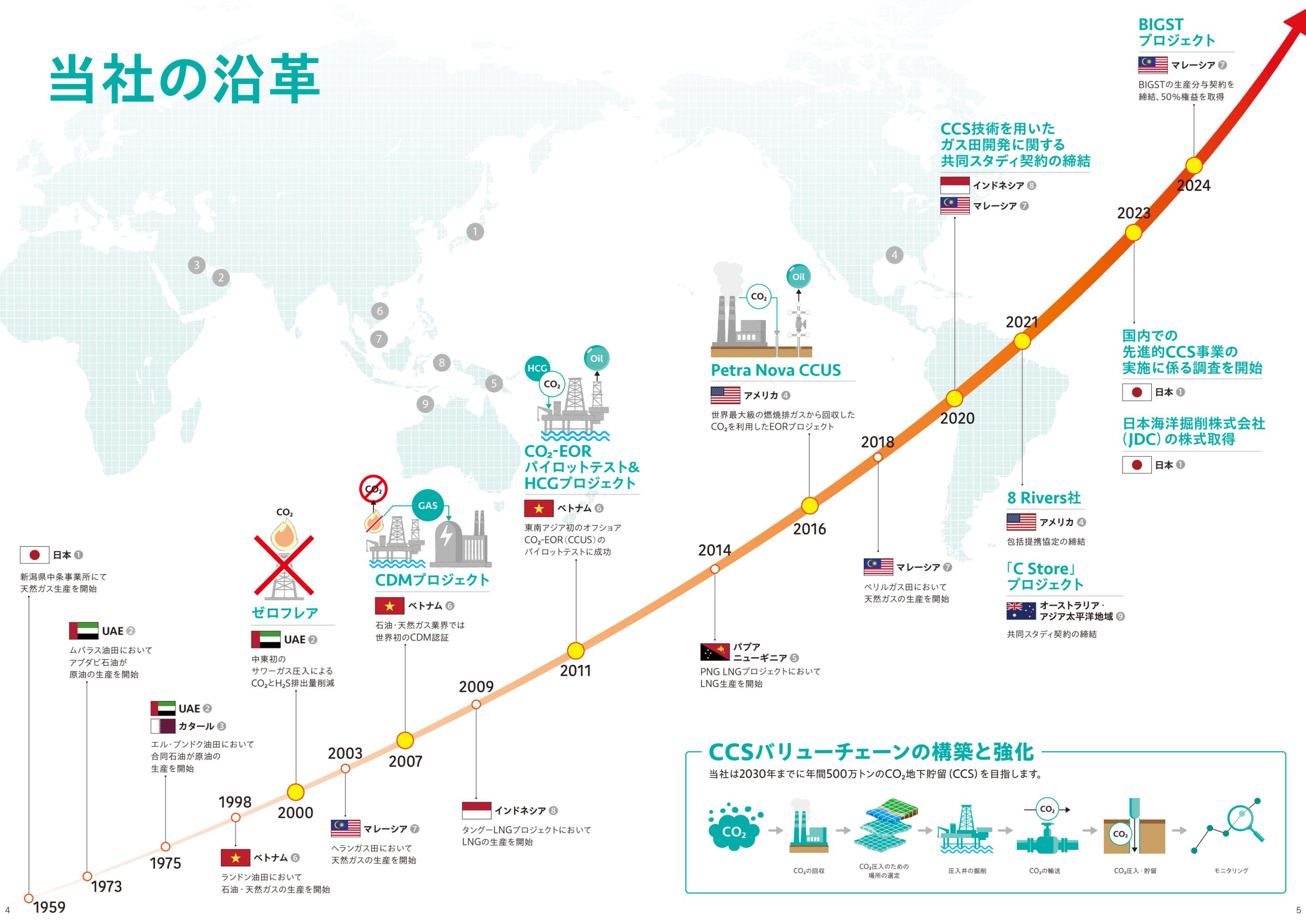


## 二軸経営について



# Explore the EARTH and Create Value

# 当社の沿革



**日本 ①**  
新潟県中条事業所にて天然ガス生産を開始

**UAE ②**  
ムバラス油田においてアブダビ石油が原油の生産を開始

**UAE ②**  
**カタール ③**  
エル・ブンドク油田において合同石油が原油の生産を開始

**ベトナム ⑥**  
1998 ランドン油田において石油・天然ガスの生産を開始

**マレーシア ⑦**  
2000 ヘランガス田において天然ガスの生産を開始

**ゼロフレア**  
**UAE ②**  
中東初のサワーガス圧入によるCO<sub>2</sub>とH<sub>2</sub>S排出量削減

**ベトナム ⑥**  
石油・天然ガス業界では世界初のCDM認証

**CDMプロジェクト**

**インドネシア ⑧**  
2009 タンゲール-LNGプロジェクトにおいてLNGの生産を開始

**ベトナム ⑥**  
東南アジア初のオフショアCO<sub>2</sub>-EOR (CCUS) のパイロットテストに成功

**CO<sub>2</sub>-EORパイロットテスト&HCGプロジェクト**

**パプアニューギニア ⑤**  
2014 PNG LNGプロジェクトにおいてLNG生産を開始

**マレーシア ⑦**  
2016 ベリルガス田において天然ガスの生産を開始

**アメリカ ④**  
2018 世界最大級の燃焼排ガスから回収したCO<sub>2</sub>を利用したEORプロジェクト

**Petra Nova CCUS**

**8 Rivers社**  
**アメリカ ④**  
包括提携協定の締結

**「C Store」プロジェクト**  
**オーストラリア・アジア太平洋地域 ⑨**  
共同スタディ契約の締結

**インドネシア ⑧**  
**マレーシア ⑦**  
2020 CCS技術を用いたガス田開発に関する共同スタディ契約の締結

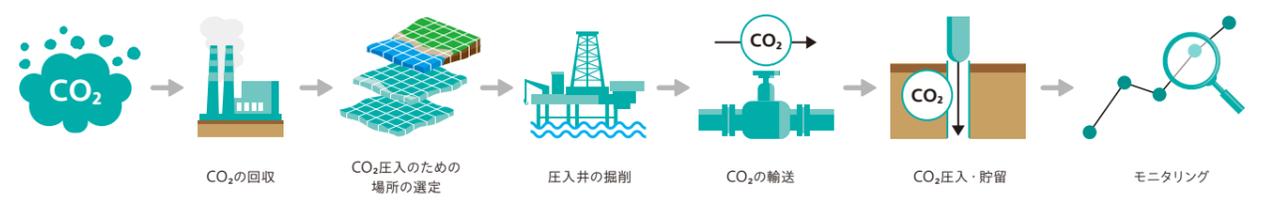
**国内での先進的CCS事業の実施に係る調査を開始**

**日本海洋掘削株式会社 (JDC) の株式取得**

**BIGSTプロジェクト**  
**マレーシア ⑦**  
BIGSTの生産分与契約を締結、50%権益を取得

## CCSバリューチェーンの構築と強化

当社は2030年までに年間500万トンのCO<sub>2</sub>地下貯留 (CCS) を目指します。



# 未来に向けた ENEOS Xploraの取り組み

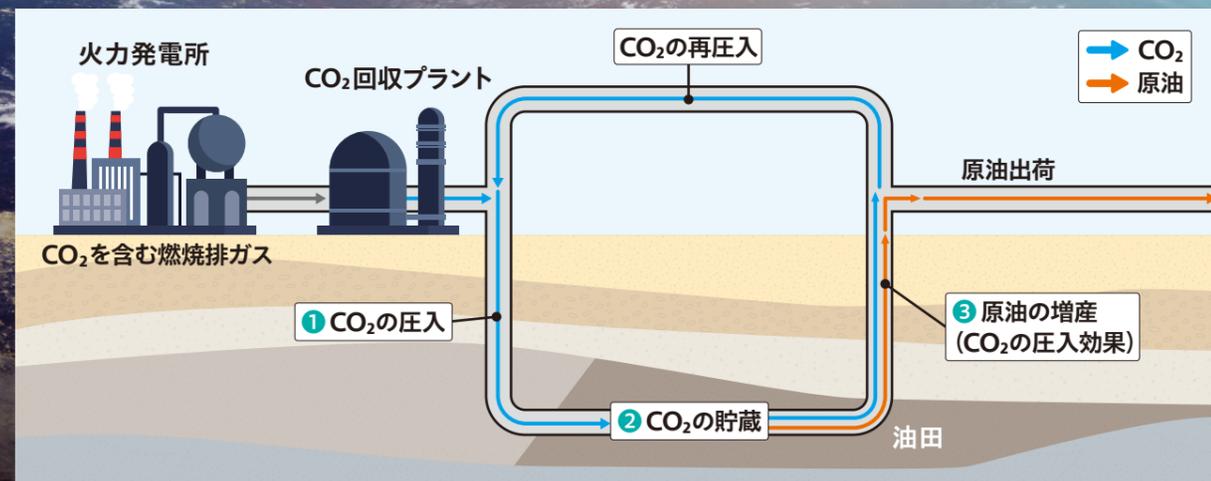
当社は二軸経営の方針の下、エネルギーの安定供給だけでなく、この星を未来に繋ぐ事業として、強みとする地下技術を活かしたCCS/CCUSをはじめとした環境対応型事業に取り組んでいます。

## CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) とは?

CO<sub>2</sub>を回収し、地下に圧入・貯留する技術のことを指します。カーボンニュートラルを達成するための技術として有力視されており、日本政府は2050年までに年間約1億トン~2億トンのCO<sub>2</sub>を、このCCSで貯留する考えです。当社はこれまでの資源開発で培ってきた地下技術を活かし、CCSを推進していきます。



## CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage) とは?



上記のCCSに加え、新たな商品やエネルギー生成のために回収したCO<sub>2</sub>を利活用する技術のことを指します。当社では、CO<sub>2</sub>を老朽化した油田に圧入することで、原油の増進回収を図りつつ、CO<sub>2</sub>を削減することに成功しており、今後も同様の技術をさまざまな事業で展開していく方針です。

## 2016年商業運転開始 世界最大級のCCUSプロジェクト Petra Nova CCUS Project

環境対応型事業における当社の旗艦プロジェクトが、米国テキサス州におけるPetra Nova CCUSプロジェクトです。このプロジェクトは、火力発電所の燃焼排ガスからCO<sub>2</sub>を分離・回収し、回収したCO<sub>2</sub>を超臨界の状態にして油田へ圧入、原油増産に繋げるもので、年間約140万トンのCO<sub>2</sub>排出削減に寄与する世界最大級のCCUSプロジェクトとなっています。

CO<sub>2</sub>を地中に圧入するだけでは採算の確保が難しいという課題を、CO<sub>2</sub>圧入による原油の増産効果と組み合わせるモデルで克服している点が本プロジェクトの特徴となっています。

当社は世界的にも数少ないCCUS事業を商業化した事業者として培ったノウハウ・技術を、今後のCCS事業を進めるうえでの大きなアドバンテージとしてまいります。

Petra Nova  
CCUS Project

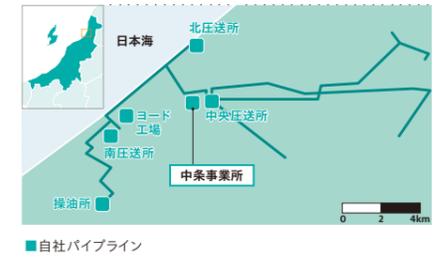
## 基盤事業



私たちは世界8か国で権益を保有し、石油・天然ガスの開発・生産を行っています。  
エネルギーの安定供給という使命のため、これからも安全・安定操業に努めてまいります。

## 中条事業所 (新潟県)

※オペレータープロジェクト

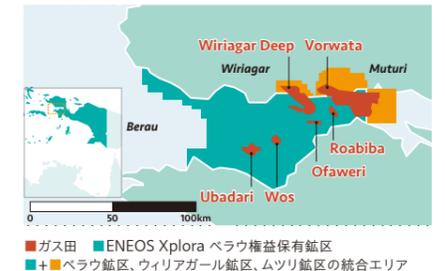


新潟県胎内市に位置する中条事業所は、当社唯一の国内事業拠点です。70年近くにわたり天然ガスと原油を生産し続けており、家庭用のガスや企業の燃料として、地域の暮らしや産業を支えています。

また、水溶性天然ガスに付随して生産される地下水（かん水）からは世界的にも希少なヨード（ヨウ素）を回収・生産し、医療品や化成品の原料などとして販売しています。

## タンゲーLNGプロジェクト (インドネシア)

※オペレータープロジェクト



タンゲーLNGプロジェクトは、インドネシア政府が国家戦略として取り組む、大型LNGプロジェクトです。当社は1989年から本プロジェクトに参画しています。本プロジェクトは2009年にLNGの生産を開始し、2023年には、増設した第3系列液化設備からのLNGの生産を

開始しました。本プロジェクトでは、CCUSを含む更なる追加開発を実施中で、CO<sub>2</sub>の排出削減と同時に天然ガスの増産に取り組んでいます。

## PNG LNGプロジェクト/Papua LNGプロジェクト (パプアニューギニア)

※オペレータープロジェクト



パプアニューギニアにおいては、山間部における原油生産に加え、同国初のLNGプロジェクトであるPNG LNGプロジェクトに事業化検討段階から参画しています。PNG LNGプロジェクトは、販売契約のうち40%が日本向けとなっており、日本のエネルギー安定供給に大きく貢献しております。

また、2023年7月には、同国第2のLNGプロジェクトであるPapua LNGプロジェクトに参画しました。上流のガス処理プラントで分離したCO<sub>2</sub>を含む酸性ガスをLNG生産開始時より地下へ圧入するCCSの実施が開発計画に含まれており、温室効果ガス排出量の少ないLNGプロジェクトとなることが期待されます。

## 15-2鉦区プロジェクト (ベトナム)

※オペレータープロジェクト



ベトナム沖15-2鉦区プロジェクトは、当社が1992年に権益を取得して以来、探鉱・開発・生産操業をオペレーターとして継続してきました。現在、ランドン油田およびフンドン油田の2油田から生産をしています。1998年8月のランドン油田生産に始まり、2024年9月には、同鉦区の累計原油生産量が2.5億バレルに達しました。生産された原油はベトナム国内のみならず、日本をはじめアジア各国にも供給されています。

また、石油・天然ガス開発業界では世界初となる原油随伴ガスの回収・有効利用によるクリーン開発メカニズム(CDM: Cleans development Mechanism)事業、CO<sub>2</sub>-EORのパイロットテスト、ベトナム初となる HCG-EOR(炭化水素ガス圧入による原油増進回収)操業の実施、と様々な先進的な取り組みに挑戦しつつ、安全・安定操業を長年継続していることをベトナム政府やパートナーから高く評価される、当社基幹プロジェクトの一つとなっています。

## SK10鉦区プロジェクト (マレーシア)

※オペレータープロジェクト



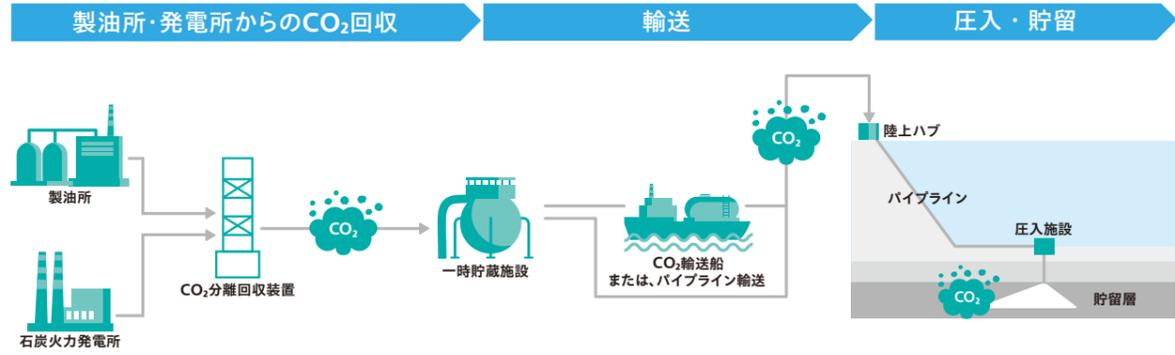
マレーシア・サラワク州沖のSK10鉦区天然ガス・原油開発・生産プロジェクトは、1987年に当社がオペレーターとして鉦区権益を取得して以来、探鉱・開発・生産を行っており、2023年に天然ガス生産開始20周年を迎えました。  
SK10鉦区へのラン、ラヤン、ベリルの3つのガス田で生産される天

然ガスは、海底パイプラインでピンツルにある液化プラントに送られ、LNGとして日本を含むアジア諸国に出荷されています。  
SK10プロジェクトは、アジアのエネルギー安全保障確保に貢献する当社基幹プロジェクトの一つとなっています。



## 環境対応型事業

### CCS事業



ENEOS株式会社、電源開発株式会社（J-POWER）との共同事業として、2030年度中に九州西部沖エリアにてCCS事業の開始を目指

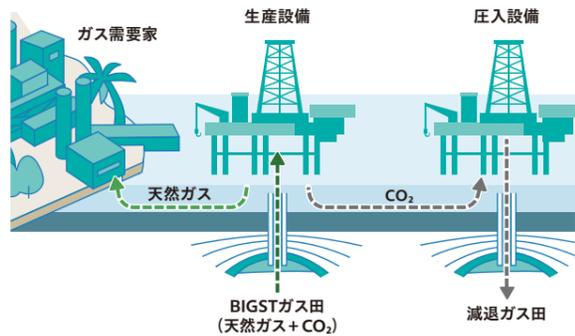
しています。当社は、バリューチェーンにおいて地下圧入および貯留を行うフェーズを担い、年間170万トンのCO<sub>2</sub>を圧入予定です。

### BIGSTプロジェクト

2024年、当社はマレーシアにおけるBIGSTと呼ばれる未開発のガス田群の生産分と契約を締結し、同ガス田群の50%の権益を取得しました。

同ガス田群は豊富な天然ガス埋蔵量を有するものの、ガスと共に

高濃度のCO<sub>2</sub>を含んでいます。当プロジェクトは、天然ガスとともに産出されるCO<sub>2</sub>を分離・回収して近隣の減退ガス田へ圧入する、CCSを組み合わせた低炭素の天然ガス開発のモデルケースと言えるもので、現在、開発開始に向け具体的な検討を進めています。



### 中条共創の森 オープンイノベーションラボ (NOiL)

NOiLは、中条事業所の敷地内に設置した、産学官が連携し、コミュニケーションを通じて新たな環境事業のアイデアを創出するための拠点施設です。当社がリードする革新的技術の実証に加え、大学、環境先進企業、ベンチャー企業、行政等への技術実証機会の提供および地域社会との連携・共生を通じて、さまざまな事業検討を進めています。



## HSEに対する基本姿勢

(衛生・安全・環境)

HSEとは、Health、Safety、Environmentの頭文字からなる略称で、衛生・安全・環境を指します。

当社はHSEを何よりも優先し、石油・天然ガス開発に携わる当社従業員を含む全ての人々および地域住民の皆様の安全で健康的な生活ならびに職場での事故や怪我の防止、環境負荷の低減に全社を挙げて取り組んでいます。

### 衛生・安全・環境方針の策定

当社では、衛生・安全・環境に対する基本方針を策定しています。また、その具体的な方策や運用方法と遂行、ならびに社長以下全社員が方針の運用に責任を負うことなどを明文化し、全社で共有しています。



### 国際規格に則ったHSEマネジメントシステム

国際規格に則ったHSEマネジメントシステムを構築し、Plan（計画/立案）-Do（実施/運用）-Check（実績評価）-Act（改善）の運用サイクルを通じてHSEパフォーマンスの継続的改善を図っています。



### 安全への取り組み

石油・天然ガス開発事業は、探鉱・開発・生産・廃鉱の各段階において、事故発生リスクを低減しています。当社ではこのようなリスクを適切に管理し、労働環境の整備や安全作業に努めています。

### 環境への取り組み

当社は「衛生・安全・環境方針」および「ENEOSグループ環境方針」に則り、あらゆる事業活動において環境関連法令を遵守し、環境保全に努めています。米国のPetra Nova CCUSプロジェクトによる地球温暖化対策はその一例です。

※Petra Nova CCUSプロジェクト：CO<sub>2</sub>を老朽化油田に圧入し、原油回収率向上とCO<sub>2</sub>削減に寄与する技術プロジェクト。

## 社会貢献活動

当社では、「次世代育成・支援」「環境保全」「文化・スポーツの振興」に重点を置いた社会貢献活動に取り組んでいます。

事業活動を行っている国内外のさまざまな地域において、教育インフラ等の建設支援や、社会事業、イベント等に対する寄付、地元行事への参加およびボランティア活動の実施など、地域社会に根差した活動を展開しています。



ベトナム：学校等の建設



マレーシア：レガッタレースへの協賛



日本：新潟県胎内市での森林保全活動



日本：小学校での出前授業実施

# 会社概要

2025年4月1日現在

## 社名

ENEOS Xplora株式会社

## 設立年月日

1991年6月26日

## 本社所在地

〒100-8163 東京都千代田区大手町1-1-2 ENEOSビル

## 資本金

376億円

## 株主

ENEOSホールディングス株式会社 (100%)

## 代表取締役社長

忍田 泰彦

## 事業内容

石油、天然ガスその他の鉱物・エネルギー資源の探鉱、探査および開発

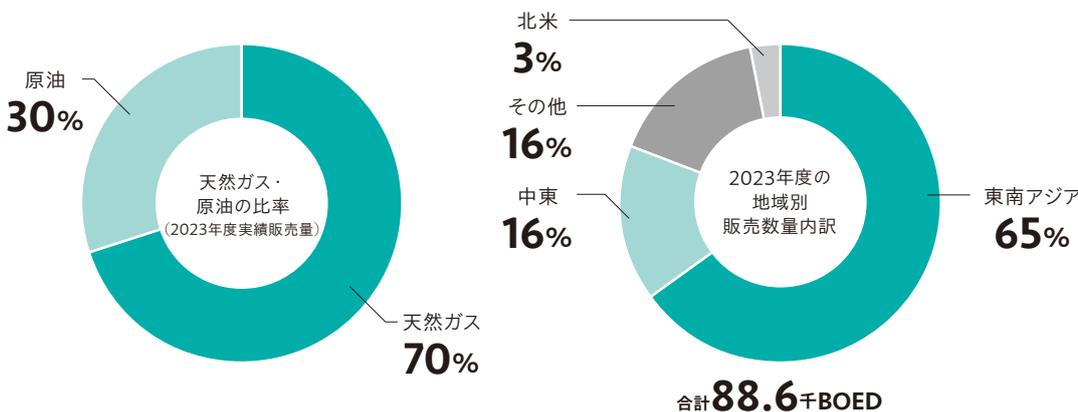
石油、天然ガスその他の鉱物・エネルギー資源およびそれらの副産物の採取、加工、貯蔵、売買および輸送

二酸化炭素の回収、輸送、貯留および利用

## 事業所

- ・ブントウ(ベトナム) ・ホーチミン(ベトナム) ・クアラルンプール(マレーシア) ・ジャカルタ(インドネシア)
- ・ブリスベン(オーストラリア) ・ヒューストン(アメリカ) ・ペトラノバ(アメリカ) ・中条(新潟)

## 販売量



オフィシャルサイト

<https://www.eneos-xplora.com/>

